



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9367 URL <https://www.daito-koun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,160	3.5	898	△2.7	1,045	4.2	702	△0.9
2022年3月期第3四半期	12,720	△24.6	922	48.4	1,002	39.7	709	56.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 796百万円(8.0%) 2022年3月期第3四半期 737百万円(44.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	81.84	—
2022年3月期第3四半期	82.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,205	8,427	58.1
2022年3月期	13,277	7,738	57.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,254百万円 2022年3月期 7,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	1.2	1,000	△6.8	1,050	△12.0	700	△16.0	81.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	9,389,000株	2022年3月期	9,389,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	793,103株	2022年3月期	811,320株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,588,284株	2022年3月期3Q	8,577,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年2月9日に、四半期決算説明資料「第74期(2023年3月期)第3四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる各種行動制限の解除を受け個人消費に回復が見られた一方、原油高や円安の影響による輸入価格の高騰から、消費者物価は高い伸びが続いています。

海外経済においては、欧米では高インフレと政府による金融引締めが民間需要を押し下げた結果緩やかな成長にとどまり、中国ではゼロコロナ政策が経済活動に支障をきたし、成長率を大幅に押し下げる形となりました。

かかる環境下、当第3四半期連結累計期間における物流業界におきましては、輸入は米国欧州、アジア共に前年の反動から増加し、輸出に関しても同様に増加となりました。

その中で、食品の輸入が大きな部分を占める当社の取扱いは、農・畜・水産物に関してはいずれも増加しましたが、その他食品及び日用品については、巣ごもり需要が一服したことに加え為替が急激な円安に進んだことを受け減少しました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいては、自動車の増産・減産双方の影響を受けたものの堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第7次中期経営計画「独自の価値創造」～Develop inherent value～の最終年度を迎え、その各施策一つひとつに取り組みとともに、計画達成に向け受注活動を堅実に展開してまいりました。合わせて時差出勤やテレワークの推進、それに付随した機器・システムの導入、RPA化等により、新型コロナウイルス感染症対策並びに生産性向上に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、前年同四半期比3.5%増の13,160,359千円となりました。また経常利益は、前年同四半期比4.2%増の1,045,289千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比0.9%減の702,867千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、営業収益は前年同四半期比1.0%増の10,215,395千円となり、セグメント利益は前年同四半期比1.9%減の1,581,263千円となりました。

[鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、鉄鋼製品の国内外需要の回復により営業収益は前年同四半期比2.8%増の1,316,374千円となり、セグメント利益は前年同四半期比5.3%減の92,676千円となりました。

[その他事業]

その他事業は、連結子会社増加により、営業収益は前年同四半期比22.6%増の1,628,589千円となり、セグメント利益は前年同四半期比5.0%増の38,510千円となりました。

セグメント別営業収益

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	10,112,710	79.5	10,215,395	77.6	102,684	1.0
鉄鋼物流事業	1,279,987	10.1	1,316,374	10.0	36,386	2.8
その他事業	1,328,092	10.4	1,628,589	12.4	300,497	22.6
合計	12,720,790	100.0	13,160,359	100.0	439,569	3.5

輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第3四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	3,703,388	36.6	3,838,675	37.6	135,286	3.7
水産物	1,589,389	15.7	1,829,607	17.9	240,218	15.1
農産物	1,261,058	12.5	1,305,554	12.8	44,495	3.5
その他	3,558,874	35.2	3,241,558	31.7	△317,315	△8.9
合計	10,112,710	100.0	10,215,395	100.0	102,684	1.0

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,205,397千円となり、前連結会計年度に比較し927,839千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が359,504千円減少した一方、受取手形及び営業未収入金が466,672千円、関税等立替金が626,383千円、投資有価証券が159,833千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,777,548千円となり、前連結会計年度に比較し238,616千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が156,623千円、賞与引当金が140,942千円減少した一方、営業未払金が131,795千円、短期および長期借入金が152,908千円、固定負債その他（主にリース債務）が146,014千円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,427,849千円となり、前連結会計年度に比較し689,222千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が557,047千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した数値に変更はございません。今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,656,212	2,296,707
受取手形及び営業未収入金	2,483,424	2,950,097
棚卸資産	247,410	377,264
関税等立替金	1,730,656	2,357,039
前払費用	133,464	169,694
その他	61,042	93,039
貸倒引当金	△2,850	△3,507
流動資産合計	7,309,361	8,240,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	480,323	437,928
機械装置及び運搬具（純額）	201,180	187,134
土地	2,287,362	2,302,242
リース資産（純額）	95,931	205,977
その他（純額）	35,184	33,752
有形固定資産合計	3,099,982	3,167,035
無形固定資産	236,298	219,562
投資その他の資産		
投資有価証券	1,138,361	1,298,195
破産更生債権等	3,705	3,525
繰延税金資産	290,900	245,385
その他	1,202,676	1,034,901
貸倒引当金	△3,728	△3,543
投資その他の資産合計	2,631,915	2,578,464
固定資産合計	5,968,197	5,965,062
資産合計	13,277,558	14,205,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,701,265	1,833,060
短期借入金	705,462	748,000
未払法人税等	245,937	89,314
賞与引当金	300,872	159,930
その他	523,918	614,389
流動負債合計	3,477,456	3,444,694
固定負債		
長期借入金	956,000	1,066,370
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
退職給付に係る負債	698,159	713,152
長期未払金	71,221	71,221
その他	174,830	320,845
固定負債合計	2,061,475	2,332,853
負債合計	5,538,931	5,777,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	609,280	612,680
利益剰余金	6,028,811	6,585,858
自己株式	△376,263	△367,814
株主資本合計	7,117,878	7,686,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,266	190,704
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	29,292	77,431
退職給付に係る調整累計額	268,954	242,931
その他の包括利益累計額合計	497,801	567,355
非支配株主持分	122,947	173,720
純資産合計	7,738,627	8,427,849
負債純資産合計	13,277,558	14,205,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
営業収益	12,720,790	13,160,359
営業原価	8,929,730	9,338,090
営業総利益	3,791,059	3,822,269
販売費及び一般管理費	2,868,095	2,923,950
営業利益	922,964	898,318
営業外収益		
受取利息	1,150	2,073
受取配当金	25,771	33,764
持分法による投資利益	—	2,905
受取保険金	33,912	85,719
その他	27,933	35,203
営業外収益合計	88,769	159,666
営業外費用		
支払利息	8,504	9,116
複合金融商品評価損	—	3,306
その他	504	273
営業外費用合計	9,008	12,695
経常利益	1,002,724	1,045,289
特別利益		
投資有価証券売却益	49,444	3,908
特別利益合計	49,444	3,908
特別損失		
固定資産除却損	—	6,155
特別損失合計	—	6,155
税金等調整前四半期純利益	1,052,169	1,043,041
法人税、住民税及び事業税	257,394	263,049
法人税等調整額	71,153	69,683
法人税等合計	328,547	332,733
四半期純利益	723,621	710,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,352	7,440
親会社株主に帰属する四半期純利益	709,268	702,867

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	723,621	710,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,610	47,437
為替換算調整勘定	21,485	64,457
退職給付に係る調整額	△21,695	△26,022
その他の包括利益合計	13,400	85,872
四半期包括利益	737,021	796,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	718,453	772,421
非支配株主に係る四半期包括利益	18,568	23,759

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,112,710	1,279,987	1,328,092	12,720,790	—	12,720,790
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	97,209	97,209	△97,209	—
計	10,112,710	1,279,987	1,425,301	12,818,000	△97,209	12,720,790
セグメント利益	1,611,907	97,892	36,681	1,746,481	△823,517	922,964

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用823,517千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,215,395	1,316,374	1,628,589	13,160,359	—	13,160,359
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	96,969	96,969	△96,969	—
計	10,215,395	1,316,374	1,725,558	13,257,328	△96,969	13,160,359
セグメント利益	1,581,263	92,676	38,510	1,712,450	△814,131	898,318

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用814,131千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。